「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

**ご協力のお願い**

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト（http://www.mm-education.jp/）での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させて頂きます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

・バスや鉄道の乗り方教室

・公共交通を題材とした地球環境問題の学習

・環境学習の一環としてのバス･電車を使った校外学習

・公共交通を題材としたまちづくり学習

・交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）

・フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習）　など

交通環境学習の授業内容例

**■記入上のご注意**

この調査票は、平成29年度に交通環境学習に取組んだと回答された自治体にお送りしています。

ご回答は、「交通環境学習」に取組まれた場合は、その内容をご存じのご担当者様、  
取組まれていない場合は、公共交通計画等の関係部署のご担当者様にお願いいたします。

なお、今年度は、教育委員会にも同様のアンケートを別途配布しています。

**■回収の期日**

アンケートは、12月21日（金）までに、回答願います。

**■調査票の回収方法　（Ａ～Ｃのいずれかの方法で返送ください）**

Ａ．インターネット 下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

**交通環境学習ポータルサイト　http://www.mm-education.jp/**

Ｂ．FAX　　　　　 記入後の調査票を　FAX 06-4796-8509　まで返信

C．メール　　　　　エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、  
記入後の調査票を　info@mm-education.jp　まで返信

地域未来研究所（担当：貞松、田子）　／TEL 06-4796-8502

【問い合せ先】

交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）／TEL 03-3221-7636

■調査会社（調査票の配布・回収）

■ 貴自治体での平成29年度の「交通環境学習」の実施状況について

**問１**　貴自治体では昨年度（平成29年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（１つに○）  
※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組に協力して実施したものも含みます。

1．実施した　　→副問1.1へ

2．過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった　　→副問1.2へ

副問1.1　問１で「1」とお答えの方にお伺いします。  
「交通環境学習」を継続的に実施できる理由は何ですか？（いくつでも）

1．効果が期待できる  
（具体的に期待している効果は何ですか： ）  
2．学校や市町村、交通事業者等が主体となって実施している

3．学校からの要請がある

4．自治体の方針や計画に位置づけられている

5．その他（具体的に： ）

→副問1.1のあとは、問2へ

副問1.2　問１で「2」とお答えの方にお伺いします。  
昨年度、「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？（いくつでも）

1．取組方法がわからない  
2．担当部課の人手不足

3．予算が確保できない  
4．効果が分からない  
5．学校の協力が得られない

6．教材の作成や準備が大変   
7．その他（具体的に： ）

→副問1.2のあとは、3ページの問4へ

**問２**　昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします

(1)それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

1．実施した　　→副問2.1へ

2．実施していない　　→(2)へ

副問2.1　（1）で 「1」とお答えの方にお伺いします。  
授業の実施主体をお答えください。（いくつでも）

1．貴自治体が学校に依頼して実施  
2．自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施  
3．各学校が独自カリキュラムで取組  
4．出前講座として学校からの依頼に対応  
5．国や市町村、交通事業者等が主体となり実施  
6．その他（具体的に： ）

(2)それは、イベント（フォーラム、バスまつり等）として実施しましたか？

1．実施した　　→副問2.2へ

2．実施していない　　→(3)へ

副問2.2　（2）で 「1」とお答えの方にお伺いします。  
イベントの実施主体をお答えください。（いくつでも）

1．貴自治体が主体となり実施  
2．国や市町村が主体となり実施  
3．交通事業者が主体となり実施  
4．その他（具体的に： ）

(3)それは、授業やイベント以外にどのような方法で実施しましたか？

具体的に：

**問３**実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 内　　　容 | | 対象者 | | | | |
| 小学生 | 中学生 | 高校生 | 大学生 | その他 |
| 座　学 | バスや電車等の乗り方の座学 |  |  |  |  |  |
| 地球環境問題と交通に関する座学 |  |  |  |  |  |
| 体験型 | バスや電車等の体験乗車・乗り方教室 |  |  |  |  |  |
| 交通すごろく※1 |  |  |  |  |  |
| フードマイレージ※2 |  |  |  |  |  |
| その他 | （具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |  |  |  |
| （具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |  |  |  |

※1交通すごろく：すごろくゲームで、交通と環境の関係を学習

※2フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

■ 今後の「交通環境学習」について

**問４**　今後、「交通環境学習」に取組む予定はありますか？（１つに○）

1．今年度（平成30年度）に取組む

2．予定はないが、機会があれば取組む

3．取組まないと思う

4．今後はわからない

**問５**　「交通環境学習」に取組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1．教育委員会の理解が得られない

2．具体的な取組内容がわからない  
3．学校の協力が得られない（アプローチの仕方がわからない）  
4．交通事業者の協力を得られない

5．期待した効果が得られない  
6．教材の準備などが大変

7．進め方について相談できる窓口がない  
8．具体的事例を知る機会が少ない  
9．その他（具体的に： ）

**問６**　今後、貴自治体において「交通環境学習」に取組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

■貴自治体やご回答者について

* 本アンケートのご回答者　※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 自治体名 |  | | | 担当部署 |  | | |
| 氏　　名 |  | | | 役　　職 |  | | |
| TEL |  | FAX |  | | | e-mail |  |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、12月21日（金）までに、

インターネット、メール、FAXのいずれかで返送願います。